

労働局長がベストプラクティス企業を訪問しました

長崎労働局（局長 金成 真一）では、「過重労働解消キャンペーン」の一環として、11月26日（火）、長時間労働の削減に向けて積極的に取り組む企業（※ベストプラクティス企業）への職場訪問を実施しました。

今回は、松浦市調川町にある**住商エアバッグ・システムズ株式会社**を訪問し、兼八 晃代表取締役社長から長時間労働の削減に向けた取り組みについてご説明をいただきました。

長崎労働局では、今後も長時間労働の削減に向けて、このような取組を広く紹介していきます。

※ ベストプラクティス企業とは、地域において長時間労働削減に向けて積極的に取り組んでいる企業をいいます。

○ 企業の概要

【住商エアバッグ・システムズ株式会社】

業務内容：自動車用サイドカーテンエアバッグ用クッションの製造・販売

労働者数：335名

本社／工場所在地：松浦市調川町下免851番地11

設立：2004年（工場竣工2005年3月25日）

○ 長時間労働削減等に向けた主な取組内容

- ・年次有給休暇の取得促進
- ・看護休暇・介護休暇の取得を促進
- ・労働時間の正確な把握
- ・労使一体となった委員会の設置
- ・経営トップによる意識改革



本社工場全景

お問い合わせ先：長崎労働局労働基準部監督課（電話）095-801-0030



厚生労働省長崎労働局

1 取組の概要

住商エアバッグ・システムズ株式会社より、長時間労働の削減等のための取組について説明を受けました。

① 年次有給休暇の取得促進

昨年から年次有給休暇の取得向上に向けて、労使双方の代表者が参加する安全衛生委員会やマネジメントレビューでも課題に挙げて、「休まない=美学」の考えを改めることにしました。

◆年次有給休暇の取得率が、62%に向上

② 看護休暇・介護休暇の取得を促進

看護休暇・介護休暇の取得日数をそれぞれ5日から10日（1人につき10日最大20日）に引き上げた上で、給料全額支給に変更することにより、性別を問わず育児・介護休業を取得しやすい環境を整備しました。

◆看護休暇取得日数は、前年比3倍（男性社員の取得日数が向上）に増加し、介護休暇の取得も増加

③ 労働時間の正確な把握

労働時間管理は、ICカードと自己申告両方で確認及び記録を行っています。これにより、上司が、部下の時間外労働、日々の残業時間、月の累計残業時間を確認でき、時間外協定の限度時間に近づく前に部下に指示を出しています。

④ 労使一体となった委員会の設置

安全衛生委員会（毎月開催）やマネジメントレビューにおいて、長時間労働者を発表するとともに、削減に向けた目標の設定、具体策の検討・実施、実態調査等一連の取組により、労使一体となって主体性をもって取り組んでいます。

⑤ 経営トップによる意識改革

社員1人ひとりが最大限にパフォーマンスを発揮するためには、心身の「健康」が最重要であるとの考えから、「イキイキワクワク健康経営宣言」を立ち上げ、社長自らメッセージを発信しています。



取組を説明する様子



2 工場等を見学しました

勤怠管理システムと給与システムが連結することにより、スムーズかつ正確な給与計算が行われるため、複雑なシフト制でも容易に時間管理が可能との説明を受けました。



工場の見学の様子



勤怠管理システムの説明を受ける様子

3 大企業等の働き方改革に伴う「しわ寄せ」防止に向けた要請を行いました



「しわ寄せ」防止に向けた要請の様子

労働局長から兼八晃代表取締役社長に、大企業等の働き方改革に伴う「しわ寄せ」防止に向けた要請を行いました。

働き方改革関連法が施行された中で、大企業・親事業者による長時間労働の削減等の取組が、下請等中小事業者に対する適正なコスト負担を伴わない短納期発注、急な仕様変更などの「しわ寄せ」を生じさせる場合があります。その中で、集中的に周知啓発を行うために、11月を「しわ寄せ防止キャンペーン月間」として、団体や大企業に対し、要請等行っており、趣旨をご理解いただき、発注や調達を行う部署の責任者の方々に対して、必要な働きかけをお願いしました。